

1 徹底した行政改革

公約事業名称

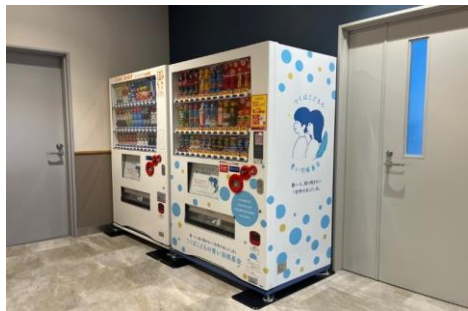
- センタービルに便利な市役所窓口を新設
- 地域活動を応援するため、寄付制度等の活用をさらに推進〔つくばこどもの青い羽根基金〕
- 高エネ研南側の総合運動公園用地について市民や市議会とともに方向性を決定して最終解決へ
- 規制緩和を実現する内閣府スーパーシティ構想への申請とプライバシーを重視したデータ利活用
- スマホから「いつでも・どこでも」可能な行政手続きを実現



スーパーシティに関する取り組み



つくば駅前市民窓口センター



つくばこどもの青い羽根基金
寄付型自動販売機

23個票 達成S：43.5% 順調A：21.7%
おおむね順調B：13.1% 遅れC：21.7%

評価・取り組み

- ➡ **達成S** 2023年12月、つくば駅前に「つくば駅前市民窓口センター」を新設。
- ➡ **達成S** 基金の周知が浸透し、事業に対する理解と賛同が増加。（寄付実績：2023年度753件、15,439,599円）
- ➡ **達成S** 2023年12月にデータセンター、物流施設、防災拠点施設等からなるビジネスパークの整備工事が開始。
- ➡ **順調A** 2022年4月にスーパーシティ型国家戦略特別区域に指定され、内閣府の先端的サービスの開発・構築に関する調査事業等を実施。
- ➡ **遅れC** 法令等の制約や事業主体が国・県であること等からオンライン化が進展しない手続もある。今後は国・県の動向を注視し、オンライン化に向けて対応していく。

3 頼れる福祉

公約事業名称

- 身近な地域で運動や趣味の活動ができる「高齢者憩いの広場」の整備を市内全域で推進
- 高齢者向けスマホ教室を開始し、離れて暮らす家族や友人とのテレビ電話などを可能に
- 障害者福祉タクシー利用料金助成についてタクシーを利用しない場合に他の交通手段の助成を選べる選択制へ
- こどもたちが安心して過ごせる学習拠点やみんなの食堂の整備推進
- こどもと保護者への支援が切れ目なく受けられる児童発達支援センターの開設



高齢者憩いの広場



スマホ講座



みんなの食堂のメニュー

21個票 達成S：61.9% 順調A：19.1%
おおむね順調B：9.5% 遅れC：9.5%

評価・取り組み

- ➡ **達成S** 高齢者を中心とした地域住民が気軽に通うことができる「高齢者憩いの広場」の活動団体へ補助金を交付。（活動団体数：2020年度9団体→2023年度14団体）
- ➡ **達成S** 小田地区、宝陽台地区でスマホアドバイザー講師育成を実施。市内17か所でスマホ講座、相談窓口を実施。
- ➡ **達成S** 2022年4月からタクシー以外の公共交通機関利用の助成事業（重度障害者が交通系ICカードを利用して鉄道・バスに乗りした時の運賃助成事業）を導入。
- ➡ **達成S** 学習拠点を開設、みんなの食堂実施団体へ補助金を交付。（学習拠点の開設数：2023年度18か所、みんなの食堂実施団体：2023年度10団体（うち8団体に補助金を交付））
- ➡ **遅れC** 整備方針の変更により、開設が遅れている。今後は2027年度の開設を目指し、整備を進めていく。

2 安心の子育て

公約事業名称

- 妊婦や子育て世帯の孤立や虐待を防ぎ、悩みに寄り添う相談事業の推進
- 公立保育所での昼食用白米持参・オムツ持ち帰りの慣行を見直し
- 「教えから学びへ」の転換を理念とする新たな教育大綱に基づく教育改革の推進
- つくばエクスプレス沿線での5校の新設校及び増築校舎の着実な建設
- 放課後児童クラブの待機児童をゼロへ



公立保育所での主食提供



学校訪問



新設校の開校

25個票 達成S：36.0% 順調A：56.0%
おおむね順調B：0.0% 遅れC：8.0%

評価・取り組み

- ➡ **達成S** 研修を受けた地域の子育て経験者（ホームビジター）が支援を求める子育て世帯を訪問。（訪問数：2020年度19世帯→2023年度37世帯）
- ➡ **達成S** 2023年4月に全ての公立保育所で主食の提供を開始。2021年度から全ての公立保育所で紙オムツ廃棄を実施。
- ➡ **順調A** 第3期つくば市教育振興基本計画を策定し、つくば市教育大綱の具現化を推進。
- ➡ **順調A** 2023年度に香取台小学校、研究学園小・中学校の3校、2024年度にみどりの南小・中学校の2校を開校。
- ➡ **遅れC** 2023年度の待機児童の主な要因は、学校の児童数急増により児童クラブが借用していた学校施設を活用できなかったことによる。今後は2024年度に公設公営の児童クラブを1クラブ増設する予定。

4 便利なインフラ

公約事業名称

- 公共交通をさらに便利にするための市民との対話と改善の継続、近隣自治体との連携推進
- 街路樹の保護を重視した道路管理
- 通学路等の防犯灯整備や安全対策をさらに推進
- 低炭素の省エネ住宅への補助や公共施設の省エネ化の推進
- ペDESTリアンデッキ周辺の魅力創出による歩きたくなるまちづくり



つくばね号の意見交換会



街路樹の維持管理



つくばセンター広場のイベント

27個票 達成S：37.0% 順調A：37.0%
おおむね順調B：11.1% 遅れC：14.9%

評価・取り組み

- ➡ **達成S** 地域住民の要望等を踏まえたダイヤ改正及び部分運休の見直しを筑波地区支線型バス「つくばね号」で実施。
- ➡ **達成S** 計画的な剪定作業により樹勢・樹形を保ち、緑豊かな都市景観を維持。
- ➡ **達成S** 通学路を中心に防犯灯、カーブミラー、路面標示（スクールゾーン）、交通事故防止啓発看板等を設置。（新規設置数：2020年度445基→2023年度510基）
- ➡ **達成S** 省エネ住宅への補助を実施し、温室効果ガスの排出を抑制。（CO2削減量：2023年度291t-CO2）
- ➡ **遅れC** 新型コロナウイルス感染症の影響により、つくばセンター広場への歩行者流入量は回復に至らなかった。今後も様々な仕掛けにより、歩いて楽しい空間づくりを推進する。

全165個票の評価結果・評価基準

- 達成S：38.8%（64個票） ➡ 指標値がある事業は、2023年度の実績値が2024年度の目標値を達成している場合
➡ 指標値がない事業は、当初の公約内容が実現した場合
- 順調A：35.8%（59個票） ➡ 指標値がある事業は、2023年度の実績値が2023年度の目標値を達成している場合
➡ 指標値がない事業は、年次計画どおり進捗している場合

- おおむね順調B：11.5%（19個票） ➡ 指標値がある事業は、2023年度の実績値が2023年度の目標値の80%以上かつ、現状値から改善・上昇している場合
- 遅れC：13.9%（23個票） ➡ 指標値がない事業は、年次計画どおりではないものの着実な進捗がみられる場合
➡ 指標値がある事業は、2023年度の実績値が2023年度の目標値の80%未満または、現状値から改善・上昇していない場合
- 未着手D：0.0%（0個票） ➡ 指標がない事業は、年次計画どおり進捗していない場合
➡ 事業に着手していない場合

5 活気ある地域

47個票 達成S：34.0% 順調A：34.0%
おおむね順調B：17.1% 遅れC：14.9%

公約事業名称

- 周辺地域での取り組みの事業化・収益化を支援して持続的な活動へ
- 筑波東中跡地をジオパークやサイクリングの拠点へ
- 荃崎庁舎跡地を活用した地域活性化推進
- 複数校で共同利用する温水プールを市民も利用できるよう整備
- 地域の事業を将来につなげる新規事業への挑戦や事業承継を支援
- 「地産地消推進ガイドライン」により学校給食での地元食材利用を推進

評価・取り組み

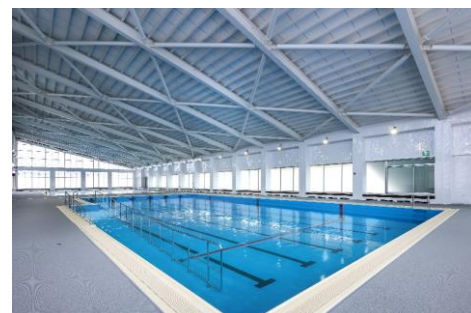
- ➡ **達成S** チャレンジショップ「吉沼まちかどテラス」に5者、「北条イリアイテラス」に2者が出店。
- ➡ **達成S** 2023年11月に「つくばジオミュージアム」及び「サイクルパークつくば」をオープン。
- ➡ **達成S** 2022年に公募型プロポーザルにより事業者を選定し、2024年3月にドラッグストアがオープン。
- ➡ **達成S** 2024年4月から「みどりのプール」の一般利用を開始し、5月から市内小学校及び中学校の水泳授業を実施。
- ➡ **達成S** つくば市認定制度を軸とした重点支援、事業継承の個別相談会を実施。
- ➡ **遅れC** 地産地消献立を取り入れ、つくば市産食材の導入を推進したが、地産地消率の目標値に至らなかった。今後も地場産物を使用した加工品や地産地消献立を取り入れ、地元食材利用を推進する。



チャレンジショップ



つくばジオミュージアム・
サイクルパークつくば



みどりのプール

6 誇れるまち

22個票 達成S：27.3% 順調A：45.5%
おおむね順調B：13.6% 遅れC：13.6%

公約事業名称

- 老朽化が課題となっているセンタービル・センター広場のリニューアル
- 中心市街地の再生を担うまちづくり会社の立ち上げ
- スケートボードパークの整備について検討を開始
- 図書館懇話会提言書で示された公園のように自由な図書館「ふれあいライブラリーパーク」の理念を実現する中央図書館の施設改修
- 廃校を活用した文化芸術の新たな活動拠点整備
- 筑波ふれあいの里・豊里ゆかりの森・荃崎こもれび六斗の森のアウトドア体験環境をさらに充実

評価・取り組み

- ➡ **達成S** 2024年2月に新たな市民活動拠点「コリドイオ」をオープン。2024年4月に広場の改修が完了。
- ➡ **達成S** 2021年4月に市と地域の事業者が連携して「つくばまちなかデザイン株式会社」を設立。
- ➡ **達成S** 2023年4月に流星台スケートボードパークをオープン。
- ➡ **順調A** 2023年度に利用者からの要望が多い閲覧スペースを20席増設。中央図書館リノベーション事業の設計が終了。
- ➡ **順調A** 2022年度に「つくば市文化芸術創造拠点基本計画」を策定し、2023年度に基本設計を開始。
- ➡ **遅れC** 各施設の改修工事を進めている中で、利用者数は目標値に至らなかった。今後も改修工事を進め、改修後の施設利用者の利便性向上を図る。



コリドイオのフリースペース



文化芸術創造拠点の整備に
関する市民ワークショップ



流星台スケートボードパーク

市長公約事業のロードマップ 2020-2024 最終版▶概要

世界のあしたが見えるまち

ともに創る

- 1 徹底した行政改革
- 2 安心の子育て
- 3 頼れる福祉
- 4 便利なインフラ
- 5 活気ある地域
- 6 誇れるまち

4年間で86.1%の事業が「達成」「順調」「おおむね順調」に進行

令和6年9月
つくば市

